

# 数値解析レポート No.1

32 番 平田 蓮

## 1 任意の行列の 2 行を交換する

作成した行列の任意の 2 行を交換する関数 `swap_row()` をリスト 1 に示す.

リスト 1 swap.c

```
1 void swap_row(double **a, int row, int col, int x, int y) {  
2     if (x < 0 || x >= row || y < 0 || y >= row) {  
3         puts("Defective Input (swap_row())");  
4         return;  
5     }  
6  
7     double *tmp = a[x];  
8     a[x] = a[y];  
9     a[y] = tmp;  
10 }
```

引数の `a` には NAbasic.c の `csvRead()` から得られる行列を渡す. `row`, `col`, `x`, `y` はそれぞれ行列の行数, 列数, 交換する行である. 正方行列を掛け合わせることで行を交換することも可能だが, それだと正方行列以外の行列に対応できないため, リスト 1 のように 2 行のポインタを入れ替えることで実装した.

この関数を使って課題 4 の  $A = \begin{pmatrix} 2 & -1 & 5 \\ -4 & 2 & 1 \\ 8 & 2 & -1 \end{pmatrix}$  の 1, 3 行目を交換した際の出力を下に示す.

Before swapping

```
2.000000 -1.000000 5.000000  
-4.000000 2.000000 1.000000  
8.000000 2.000000 -1.000000
```

After swapping

```
8.000000 2.000000 -1.000000  
-4.000000 2.000000 1.000000  
2.000000 -1.000000 5.000000
```

正しく交換できていることがわかる.

## 2 行列積を利用して内積を求める

2つのベクトル  $\begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix}$ ,  $\begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \\ y_3 \end{pmatrix}$  の内積は  $\begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \\ y_3 \end{pmatrix} = x_1y_1 + x_2y_2 + x_3y_3$  と表される。これは次の行列積  $\begin{pmatrix} x_1 & x_2 & x_3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \\ y_3 \end{pmatrix}$  で表すことができる。

行列積を計算する関数 `matrix_p()` をリスト 2 に示す。

リスト 2 prod.c

---

```
1 double **matrix_p(  
2     double **x, int xrow, int xcol,  
3     double **y, int yrow, int ycol  
4 ) {  
5     int i, j, k;  
6     double **ret = allocMatrix(xrow, ycol);  
7  
8     if (xrow != ycol || xcol != yrow) {  
9         puts("Defective_data!\n(matrix_p())");  
10        return ret;  
11    }  
12  
13    for (i = 0; i < xrow; i++) {  
14        for (j = 0; j < ycol; j++) {  
15            for (k = 0; k < xcol; k++) {  
16                ret[i][j] += x[i][k] * y[k][j];  
17            }  
18        }  
19    }  
20  
21    return ret;  
22 }
```

---

引数は計算をする2つの行列とそれぞれの行数と列数である。

2つのベクトルを読み込む際に、行ベクトルと列ベクトルとして読み込まなければ計算ができない。

この関数を使用して課題2の2つのベクトルの内積を求めた結果を下に示す。

Vector1

1.000000 5.000000 8.000000

Vector2

3.000000

7.000000

-2.000000

Inner product: 22.000000

正しく計算できていることがわかる.

### 3 2つのベクトルの成す角を求める

2つのベクトル  $v_1, v_2$  の内積は2つの成す角を  $\theta$  としたとき,  $v_1 \cdot v_2 = v_1 v_2 \cos \theta$  と定義される. よって, 2つの成す角は,  $\theta = \arccos \frac{v_1 \cdot v_2}{v_1 v_2}$  として求めることができる. これを求める関数 `calc_angle()` をリスト3に示す.

リスト3 `calc_angle.c`

---

```
1 double calc_angle(  
2     double **x, int xrow, int xcol,  
3     double **y, int yrow, int ycol  
4 ) {  
5     if (xrow != 1 || ycol != 1 || xcol != yrow) {  
6         puts("Defective_data!(calc_angle())");  
7         return -1;  
8     }  
9  
10    double p = matrix_p(x, y, xrow, xcol, yrow, ycol)[0][0];  
11    return acosf(  
12        p /  
13        norm(matrix2colVector(x, xrow, xcol), xrow * xcol) /  
14        norm(matrix2colVector(y, yrow, ycol), yrow * ycol)  
15    );  
16 }
```

---

引数は `matrix_p()` と同様である.

これを使用して課題2の2つのベクトルの成す角を求めた結果を下に示す.

Vector1

1.000000 5.000000 8.000000

Vector2

3.000000

7.000000

-2.000000

Inner product: 22.000000

Angle: 1.271850 [rad]  
72.871616 [°]

わかりやすいように弧度法と度数法 2 通りで出力するようにした.

## 4 感想

課題の内容は比較的簡単に熟すことができた. 2 本のベクトルの成す角について, グラフにプロットをして実際の角度を確かめようとしたが, 3 次元プロットではわかりづらかったため, ここには載せなかった.